

TOPICS

ものづくりの管理技術を伝授 ATAC・MATE 奈良の「出前セミナー」

有力企業のOBや技術分野の専門家で組織し、奈良県内のものづくりの高度化に取り組んできた「NPO 法人 ATAC・MATE 奈良」（代表理事 西野宗治氏）は、奈良県下の中小企業が築いてきた「ものづくり固有技術」の上に「ものづくり管理技術」を上乗せし、さらに高度化することをサポートするため「ものづくり支援隊 出前セミナー」事業を展開している。

企業のものづくり現場の最前線に直接的に出張・密着し、より「良く」、より「安く」、より「早く」、より「輝く」ものづくりを目指し、実戦的な短期集中セミナーを行う。社外のセミナーで人材の高度化を図りたいが、全員を参加させる訳にもいかず、従業員の代表を派遣したものの、持ち帰った成果がなかなか社内に根付かず悩んでいる企業は多い。そこで、講師の側から出張しようというものである。

希望のコースを指定すれば、その後スタッフが企業を訪問し、企業実態を反映したカリキュラムを作成、実業界での経験豊富な技術者が現場密着型の実習を交えプレゼンテーションを行う。

■出前セミナーの概要

(1) 問題点に即した6つのコース

出前セミナーには、6つのコースがあり、希望のコースを選べる。

1. 品質管理コース (Qコース)
2. 価値分析・VEコース (Cコース)
3. 工程管理コース (Dコース)
4. 安全管理コース (Sコース)
5. 従業員のモラルアップコース (Mコース)
6. 環境管理コース (Eコース)

(2) 受講最少人数

社内で7人以上の受講者が集まれば、「出前セミナー」の対象となり、「ものづくり支援隊」を派遣する。



業務終了後、企業内にセミナーを出前

(3) セミナー回数・期間

「出前セミナー」は、1コースについて8回、2か月にわたり開講。

毎週金曜日又は土曜日、終業後17時頃から、企業に講師が出向き、スタートする。

(4) セミナー時間・内容等

1回のセミナーは90分で、前半45分はテキストによる座学、後半45分は実習。

カリキュラムは、企業と相談の上で作成。

(5) セミナー受講者等

条件はただ一つ、会社と社会のために役に立ちたい意欲満々の人。

受講者は、老若男女を問わず、新入社員、途中入社社員、もう一度系統的に勉強したい社員、その他、将来のリーダーの養成など、企業の希望に基づく。

(6) 費用等

費用は1コース、月4回で2ヶ月間、計64,000円。例えば、10人受講すると、1人当たり6,400円。(資料代は別)

■各コースの概要

1. 品質管理コース (Qコース)

品質管理の基本ともいえる、QC（品質管理）活動を効率よく実行するためのコース。7つの分析手法（QC7つ道具）を元に、具体的に品質管理の進め方を解説。

まず、現場のデータを取り、QC7つ道具である①パレート図 ②特性要因図 ③ヒストグラム ④管理図／グラフ ⑤散布図 ⑥層別 ⑦チェック

シートの中の適切な手法を1~2選んで分析して、どのように対策・改善を実行するかを学ぶ。

2. 価値分析・VEコース（Cコース）

「原価低減」を、設計の現場・製造現場で実現するために、支援するセミナー。

製品のコスト競争力は企業発展の重要な要素となっているが、単なるコスト削減では限界があり、現状を打破する革新が必要となる。そのために開発されたのが、VE（Value Engineering）で、製品の「価値」を、それが果たすべき「機能」とそのためにかける「コスト」との関係で把握し、システム化された手順で「価値」の向上をはかるうとする手法。

このコースでは、VEの実施手順等を易しく解説し、「機能」と「コスト」の分析から代替案の作成を学ぶコースで、VEを正しく理解し、上手に展開することによって、コスト低減の効果だけでなく、企業体質の改善にもつなげていく。

3. 工程管理コース（Dコース）

「生産性を達成し納期を守る」を、設計の現場、製造現場で実現するために支援するセミナー。

工程中における「ムダ」、「ムリ」、「ムラ」を排除することが生産の効率アップの基本になるが、これらのベースになるのが作業の標準化である。

このコースでは、管理工程図や作業標準作成のポイントなど、標準化の基礎や、原価低減や設備管理における作業標準の取り入れ方を学ぶ。

標準化を基にした生産計画、原価管理、品質管理を目指し、生産工程の分析から始まり、各工程での管理ポイントの明確化、標準時間の設定、設備管理の充実を図り効率のよい工程管理体制を構築する。

4. 安全管理コース（Sコース）

「安全を確保する」を製造現場で実現することを支援するセミナー。

作業現場に顕在化や潜在化している危険な要素を取り除いて、安全に作業が行えるようにすることは、ものづくり現場での鉄則。

安全確保に要する費用は、効果がなかなか目に見えないが、重大事故発生時の精神的・金銭的・物的な被害の大きさは計り知れない。そこで、経営者・従業員が一体となって、人の安全確保はもちろん、機械や設備の安全についても考え、安全な明るい「ものづくり現場」の構築を目指すもの。

5. 従業員のモラルアップコース（Mコース）

「人間関係を良好にし、良い職場環境を作る」を製造現場で実現するために支援するセミナー。小集団活動と現場改善の進め方を中心に学ぶ。

材料や部品のわずかな変化や、機械や設備の調子などを、一番早く、一番よく知ることができ、また、作業の方法にしても、こうすれば「もっと楽に」、「もっと早く」、「もっと正確に」できるのではないかと気付くのも実際に作業をしている従業員である。

第一線で働いている従業員全員が、日常発生するこれらの問題点を、「自分達の職場の問題」として捉え、解決・改善していくため、職場を活性化し、ひいては企業の体質強化につながることを目指す。

6. 環境管理コース（Eコース）

企業における、廃水や廃棄物、資源のムダ使いの削減に取り組むセミナー。

環境破壊が地球規模の問題となっている現在、企業においても、環境に対する負荷の低減は社会的責任と捉えられるようになっており、社会的な注目も強まっている。

そのため、環境負荷の少ない、「持続可能な企業活動」を目指し、社内各部署、従業員一人一人の取り組み方を学ぶ。

■問い合わせ・連絡先

NPO法人 ATAC・MATE 奈良

（事務所）奈良市中山町31-8

担当 天粕（アマカス）

TEL 090-7362-5196

植田（ウエダ）

TEL 090-9057-4542